

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ
つなげよう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーは親睦と
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン
2560地区ガバナー 山本 和則
高田ロータリー会長 水上 喜芳
幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

第42回例会 ■ 5月20日(金)

No.40

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。
今、個人、企業のコンピュータユー
ザにおいて、ランサムウェア（英語：
Ransomware）の被害が昨年末あた
りから多く見うけられる様になりま
した。所謂、Ransom = 身代金 ウイルスのこと
になります。

感染経路の大半はメールの本文に埋め込まれたURLや添付ファイルを開いたときに感染するというのが多いのですが、現象はと言いますと、添付ファイルを開いたパソコンのフォルダー内のファイルが数十秒から数分で書き換えられて行きます。つまり暗号化されていきます。そして、並行して感染パソコン画面に、『暗号化されたファイルの復元パスワードが必要であれば〇〇万円送金しなさい』と言った意味のメッセージが日本語や英語で表示されます。その次に、次第にネットワーク接続されているサーバや他のパソコンに感染していきます。大抵この身代金の金額は、5～30万円程度であり、あまり大きな金額ではありません、そしてビットコインで請求されるのが一般的です。

ここで重要なことは、感染したなら直ちにLANケーブルをパソコンから外しサーバや他のパソコンに感染するのを防ぎます。

また要求されたお金が支払可能な金額であっても、振り込んではいけません。振り込んででも解除パスワードは送付されません。

また、いちど暗号化されてしまったファイルは復元出来ないと思っただけが必要です。

したがってバックアップを取ってなかった場合は被害甚大と言うことになります。

では、感染しないためにはどうしたら良いかと言うことですが、最新のウイルスセキュリティソフトはもちろんですが、Windows OSやJAVA、Adobe Reader、Flash Player など常に最新の状

態にアップデートしておくことを心がける必要があります。そして、一番重要なのが常日頃バックアップをきちんと取っておくことです。バックアップも、ただ複製を取っておくのではなく、履歴の管理など、いろいろな注意事項がありますので、それをよく守っていただく必要があります。
本日の卓話は高田ローターアクトクラブ会長の瀬川由樹子さんから、お話を頂きます。

出席報告

出席率 98.04%

ビジター

瀬川由樹子君・永井真伊君（高田RAC会長・直前会長）

メイクアップ

齋藤尚明君（5/16 高田東RCにて卓話）
東山昶也君（5/19 越後春日山RC）

会員インフォメーション

齋藤尚明君——美術展のご案内
新津記念館 齋藤三郎・尚明 父子展（～6月23日）
敦井美術館 新潟県の工芸展

幹事報告

配布物：週報No.39・子ども虐待防止オレンジリボン運動パンフ

回覧物：ハイライトよねやま194号・上越商工会議所 女性会創立10周年記念講演・上越文化会館パンフ

報告：5月14日 R地域協働ネットワークセンター防減災研修会 参加の報告

5月19日 新旧役員・理事 引継ぎ会開催

5月27日 RCを知っていただく例会参加者を推薦下さい

卓話

ローターアクト活動について

高田ローターアクトクラブ 会長 瀬川 由樹子 君



今期、高田 RAC 会長の瀬川由樹子と申します。日頃より多大なるご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、高田 RAC には男性 13 名・女性 5 名、計 18 名が所属しております。今年度は多くの花が咲き乱れるさま、様々なものが本領を發揮するという意味がある「百花斉放」をターゲットに掲げ活動して参りました。互いを認め合い、個性の花が咲き乱れる事を願う想いを込めております。活動においては福祉にスポットを当て、障がいをもつ方への理解を深め、積極的に考えていくきっかけ作りを目的に様々な活動を実施致しました。特に、かなやの里療護園様での入居者様との交流で、心の繋がりを構築していく事に障がいの有無

は関係がない事に改めて気付かされたのは、大変貴重な経験でした。

ローターアクトはやりたい事を実現できるのが魅力ですが、そのぶん自分の意見もしっかり持たなければなりません。活発な意見交換をし、意見を持つ大切さと相手に伝える方法を学んでいける有意義な場所であると思います。

ロータリアンの皆様にはぜひ研修という意味で、社員の皆様に入会を推奨していただけないでしょうか。若い世代の私達が会社と家の往復だけでは、人脈も価値観も狭まります。より広いフィールドで自己啓発と成長ができる機会を与えて下されば幸いです。

今後とも高田 RAC を宜しくお願い申し上げます。

クラスフォーラム その2

～ 4/23 地区研修・協議会報告～



高橋正彦君／次期国際奉仕委員長

国際理解・親善・平和を推進するために、米山委員長（長岡 RC）のもと以下の基本方針を立てました。

1. 海外のロータリアンやローターアクトクラブとの交流の推進
2. グローバル補助金を使った海外での奉仕プロジェクトへの参加
3. ロータリー国際大会への参加（2017年6月10日～14日、アメリカ／アトランタにて開催）

以上の基本方針に基づいた事業計画として、青少年交換委員会と連携した国際奉仕フォーラムの開催を予定しています。

他、地区研修・協議会前のアンケートについての報告、青少年交換委員会、1年交換学生募集についての説明がありました。



佐藤教彦君／次期ローター財団委員長

1. ローター財団の研修充実

財団の理解なくして、奉仕プロジェクト、寄付は進みません。地区の研修だけでなく、クラブの卓話・分区単位の研修にも委員会メンバーが外向いてお手伝いをします。

2. 地区補助金の活用

田中年度は「ロータリアンの基本を学び、地域と共に」を目標にしています。地域ニーズを把握して、全クラブが地区補助金を申請し、活用していただくよう取り組みます。

3. 財団への寄付増進

地区補助金の活用は財団寄付への意義・促進に役立つと思います。

各クラブでの寄付増進を周知して数値目標を達成したいと思います。

4. ロータリーカードの加入促進

利用代金うち 0.3% がポリオ撲滅資金に還元されるので、カード会社と提携しながら加入促進を進めます。目標達成のために、宜しくお願い申し上げます。



酒井一成君／次期青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員長、インターアクト委員長、ローターアクト委員長より基本方針の説明後、アドバイザーの鈴木重壺パストガバナーより、「青少年の育成はそれぞれのクラブの人材育成ではなく地域の人材育成である。また、ローターアクト及びインターアクトにおける活動は、地域の次世代の人材を育てる大きな目的であり、提唱クラブのみならず、全クラブからの協力が必要である。」と話されました。

三井慶昭君／次期職業奉仕委員長

リーダーは職業奉仕委員長の佐藤一男氏（栃尾ロータークラブ）。

今年度の地区目標は、「基本を学び、地域と共に」です。と言うことで、まさに職業奉仕の実践が問われる一年と位置づけました。

「4つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深められるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリアン全員が自身の職業との関わりを通じ、率先して職業奉仕活動に参加することが求められます。「4つのテスト」を心の中心に置き、職業奉仕活動を盛んにし、地域の歯車となりましょう。

計画として

1. 年度を通じ、例会にて月1回のロータリーソング「4つのテスト」を唱和する。
2. 年に最低1回の職場訪問を取り入れる。言うことごとございました。